



世界へのプレゼントになる

国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン

Nagai Rotary Club

長井ロータリークラブ

Weekly report

長井ロータリークラブ会長	渡部 堅一	第2800地区ガバナー	酒井 彰
長井ロータリークラブ幹事	大山 友規憲	第6ブロックガバナー補佐	芳賀 康雄
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル Tel0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 Tel0238-83-2047	会報委員	五十嵐順子・菅 滋徳・塚田弘一・志釜幸喜・奥山智孝

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成28年 3月22日(火曜日) 第2,654回

【月間テーマ】 水と衛生

<例会報告 NO.34> ゲスト卓話 山形県議会議員 平 弘造 氏

☆会長挨拶 (渡部堅一 会長)



みなさんこんにちは。先週末より春彼岸、春分の日と、連休でゆっくり休めたかと思います。私も、ぼた餅を作ってもらい食べました。ぼた餅またおはぎと呼び名が変わっていますが、同じものだといわれています。

また彼岸はいつごろからするようになったかという、江戸時代に遡り、この時代にお彼岸や四十九日の明けに食べる習慣が定着したようです。

ぼたもちは、牡丹の季節、春のお彼岸に食べるものことで、あずきの粒をその季節に咲く牡丹に見立てたもの。一方おはぎは、萩の季節、秋のお彼岸に食べるものことで、あずき粒をその季節に見立てたものだそうです。

では、なぜ牡丹のほうにだけ餅がついたかという、その由来は、{倭漢三才図会}に「牡丹餅および萩の花は形、色をもってこれを名づく」とあり、牡丹餅がぼたもちになり萩を丁寧について、おはぎになったというのが一般的な説です。

また、あずきの赤色には、災害がむやみに降りかからないようにする、まじないの効果があると信じられていて、古くから邪気を払う食べ物としての信仰が、先祖の供養と結びついたといわれています。

仏教では、彼岸は、彼岸として悟りの境地を言い、苦しみに満ちている比岸と対になる言葉として使われています。そこで彼岸中は、仏道修行に励む訳ですが、日本では祖霊崇拝の習慣と合わさり、ぼたもちやおはぎを捧げ、先祖を崇拝し自分自身の功德を積んでいました。だから本当は、自分たちが食べるものではなかった。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、春の彼岸は農作業が始まる時期で、秋の彼岸は収穫の時期にあたり、春には、収穫をもたらす山の神などを迎えるためにぼたもちを、秋には収穫を感謝しておはぎを作ったとも言われています。

☆幹事報告(齋藤圭央 次年度幹事)

○地区研修協議会のご案内

4/23 開催、締め切り 4/4。

☆委員会報告

○親睦委員会 伊藤克也 委員長

恒例の合同観桜会の案内を回覧したところ、ほぼ全員の参加でありありがとうございます。今回は長井中央 RC 担当ということで、はぎ苑での開催です。参加費については次回例会にて集金したいと思います。

<ニコニコ BOX>

- ・渡部 堅一 会長
ゲストを歓迎して
- ・齋藤 喜内 会員
ゲストを歓迎して
- ・栗田 正彦 会員
ゲストを歓迎して
- ・塚田 弘一 会員
平先生、長井市発展にご尽力賜り、ありがとうございます。
- ・五十嵐 順子 会員
平先生を歓迎して

☆ゲスト卓話 (山形県議会議員 平 弘造 氏)



・この頃不規則発言が続いておりまして、自民党重鎮が知事に気合をかけるといった新聞記事の見出しを見るにつけ、自分が何か悪いことでもしているような思いもあるが、自分達の考えの中に基本的なことがかなり違いがでてきている面がでてきて、自分も判断に悩んでいる。というのは、好きか嫌いかが一番先となってきたり、予算もいたるところに、そのようなところが増えてきた。

・一例をいうと、昨年寒河江で雪フェスタが開催されたが、県が予算を付けて祭りをつくったものであるが、県の税金を持ち出して、7000万円かかった。良いか悪いかと言われると、予算を付けて悪いということはないが、山形県の予算が3割自治体であることを考えると、その予算は本当に雪祭りに使っているのか、他のことに使わなければならないかという議論がないままに、雪祭りをするのがいいのか悪いのかで決定されてしまった。本来、地元の企業の協力や地域の方々の支えで成り立っているのが祭りであり、税金で花火をあげるのがいいかとなると、考えが極端に違ってきている。

・山形県の予算は約6,000億円であるが、山形県にとって過大な予算である。そして決算は6,000億円にはならない。大きな要因は、貸付金であり、企業への貸付金が県の当初予算に含まれている。それが実行されなかったことで、補正で最終的には5,000億円になる。そうすると、6,000億円で組んだ予算の波及効果が少ないというイメージになってしまう。

・総務常任委員会で安保法案は戦争法案であるから廃案

にしてほしいという請願が出された。自分の安全を誰が保障してくれるのか、例えば警察官が現場に行ったとき、自分の身が危ないのでこの現場から撤退するのか、原発の事故があったが、あれも命をかけて守った人がいるということ、我々は認識しなければならず、安保法案も同じである。

・長井の情勢をみてもわかるように、人口は間違いなく減ってきているが、そのことで地域が廃れるという理由にしてはいけない。現状をみながらどのような街づくりをしていくか、市民に対してもしっかり話しをしていかなければならないし、市民も自分の責任を果たしていかなければならない。

・山形鉄道は地域の中にあって、我々に大きな影響を与える鉄道である。山形鉄道は赤字なので止めて代替した場合に、今の経費の何倍もかかるという事実とイメージ戦略の中でコミュニティの学校がなくなるということが、地域を消失させる大きな原因だと考えている。議員になって8年位上下分離方式という話をしてきたが、来年ようやく採用されることとなった。上下分離方式では、固定資産が山形鉄道から自治体へ移管されることで、山形鉄道の維持管理は公共で負担し、運営を山形鉄道が実施するというのが基本的な考え方である。大きな違いは今までは民間の株式会社であったが、これからは県も認めた公共の山形鉄道であり、位置づけが大きく変わったということを知っていただきたい。

・流通ということでは、これから、R287の完成に向けて実施していく。長井のバイパスが3/30開通式となり、これから米沢に向けて進んでいくが、ひとつは平成29年度に国直轄の高速道路ができあがるまでに、いかにR287を米沢北ICにつないでいくのか、長井から米沢まで無料の高速道路をいかに早く仕上げていくのかという位置づけをつくっていく必要がある。もう一つが高規格道路の梨郷バイパスの完成と小国の工事区間の格上げが最優先課題である。

*詳細はDVDをご覧ください。

☆次回例会予定

・3月29日 会員卓話 横澤 茂 氏

☆出席報告

3月22日例会 報告者：手塚典雄 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席率	MU数	修正 出席 数	修正 出席 率
本日 (3/22)	30 (2)	17 (2)	56.67 %			
前回 (3/15)	29 (1)	22 (1)	75.86 %	2	24 (1)	82.76 %
前々回 (3/8)	29 (1)	24 (1)	82.76 %			